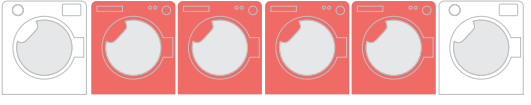
コインランドリーの陰謀

プレイヤー: 3－6人
時間: 30分

デザイナー: Jordan Draper
ゲームタイプ: ゲームタイプ　推理、妨害

いつもと同じように洗濯をする日。本当に良い日だ。誰かが色物を混ぜて邪魔しようとさえしなければ!

準備: プレイヤーは全員テーブルの同じ側に並びます。洗濯機4台を乾燥機2台で挟むように並べ、前面をプレイヤーの反対側になるように置きます。可能であればプレイヤーの逆側に光源(窓やランプ)があるようにしてください。



洗濯物をすべてまとめてテーブル中央に置き、洗剤のボトル2つをその隣に置きます。白と黒の洗濯物カードを、46ページの表を参照して、プレイヤーの人数に合わせた枚数準備します。これらのカードを良く混ぜて裏向きにしてテーブルの上に置きます。各プレイヤーは1枚ずつカードを取り、黒か白かを覚えてください。

その後、カードを戻します。自分の色は秘密にしておいてください。

プレイヤー３人	黒１枚、白２枚	同色の洗濯物２つ
プレイヤー４人	黒１枚、白３枚	同色の洗濯物３つ
プレイヤー５人	黒２枚、白３枚	同色の洗濯物３つ
プレイヤー６人	黒２枚、白４枚	同色の洗濯物４つ

他のプレイヤーに自分の色を教えてはいけませんが、プレイヤー同士で自由に会話をしてください。洗濯機カードと乾燥機カードを取り除き、残りのカードをよく混ぜて山札とします。

目的: あなたが白の洗濯物カードを受け取っていた場合、上のリストにある数以上の同色の洗濯物を２回洗濯すれば勝ちとなります。あなたが黒の洗濯物カードを受け取っていた場合、色が混ざった（１つ以上の白の洗濯物と１つ以上の黒の洗濯物を含む）洗濯を２回すれば勝ちとなります。

右端のプレイヤーから手番を行い、その後時計回りに手番を進めます。手番では以下のことを行います。

1）目を閉じる: 他のプレイヤー全員に目を閉じるように言います。

2）カードを引く: 山札の一番上のカードを引き、捨て札の山の一番上に表向きに置きます。その後、以下の３つのうちの１つのアクションを行います（必須）

２ａ）洗濯物を入れる: 引いたカードに記されている洗濯物（種類と色が一致しているもの）を取り、洗濯機のいずれかの中に入れます。洗濯物を入れる洗濯機を取り、扉を開け、中に洗濯物を入れてください。既に洗濯機に入っている洗濯物を見ることはできますが、触ったり動かしたりしてはいけません。場の中央の洗濯物の中に必要な衣類がなかった場合は、「２ａ）洗濯物を入れる」代わりに「２ｂ）調べる」をしなければなりません。靴下カードを引いた場合は、靴下を１つだけ入れるか２つ入れるか、好きな方を選んでください。

２ｂ）調べる: 洗濯機１台の中を調べます。洗濯機１台を選んで、扉を開き、中にはいっている洗濯物をすべて出します。中に入っていた洗濯物の中に、あなたが引いたカードと同じ色のものか、同じ種類のもの（ブラ、下着、シャツなど）があった場合は、それらのうちの１つを別の洗濯機に移動しなければなりません。洗濯物はよく調べてください。もし、靴下が２つ入っていて、それを移動させる場合は両方一緒に移してください（ただしあなたが靴下カードを引いていた場合は１つだけ移しても構いません）。引いたカードにあう洗濯物がなかった場合は、そのまま洗濯物をすべて元に戻してください。

目を開ける: 「２ａ）洗濯物を入れる」か「２ｂ）調べる」を選んだ場合、アクションを行ったら他のプレイヤーに目を開けるよう言ってください。何をしたか簡潔に説明しなければいけません。嘘をついても構いませんが、

やったこと（あるいはやったかもしれないこと）について具体的に説明する必要があります。適当と思われる程度に詳細に説明してください。

２ｃ）**洗濯**: 洗濯する場合は全員目を開いて、引いたカードがわかるようにしてください。洗濯機１つを選んで、中の洗濯物をすべて出してください。洗濯物がすべて同じ色で、プレイヤー数によって決まる同色の洗濯物の数以上あった場合は、洗濯が成功したとみなします。洗濯物をサプライに戻し、洗剤ひとつを右端の乾燥機の上に置いて目印とします。洗濯物がすべて同じ色だったが数が足りなかった場合は、すべての洗濯物を洗濯機の中に戻して洗濯機も元の位置に置きます。白と黒の洗濯物が混ざっていた場合は、洗濯は失敗したとみなして洗濯物をサプライに戻し、洗剤１つを左端の乾燥機の上に置いて目印とします。既に右端／左端に洗剤が置かれており、これが２つ目の洗剤だった場合はそのチーム（右端だったら白チーム、左端だったら黒チーム）の勝利となります！

その他: 洗濯機に入っている洗濯物を透過光からぼんやり見ることも可能ではあります。

注意: 手番中であっても、洗濯機を正面側から見てはいけません。選んだ１つの洗濯機だけ見ることが許されます。また洗濯機の順番を変えたり、洗濯物を他の洗濯物の中に隠したりしてはいけません。どのプレイヤーが同じチームなのかを知るために、会話や身振りや手番でのアクションとその説明の中でヒントを出すと良いでしょう。